

【ユーザーレポート：はざま胃腸内科クリニック様】

〒901-0153 沖縄県那覇市宇栄原654

オゾン水内視鏡洗浄消毒機OED-1000S Plus

※はざま胃腸内科クリニック様
ホームページはこちら

沖縄県那覇市のはざま胃腸内科クリニック様は、患者様への負担の少ない内視鏡検査や消化器内科の診療を通して、地域医療へ貢献しております。

玻座真（はざま）博明院長がご継承された2012年に、内視鏡検査を開始。同時に、オゾン水内視鏡殺菌機OED-1000を導入していただきました。そしてご使用11年目の2022年には、オゾン水内視鏡洗浄消毒機OED-1000S Plusへ更新いただきました。

玻座真院長とスタッフの方に、導入の経緯やご使用感を伺いました。

—導入の経緯を教えてください

2012年に内視鏡検査を開始する際、販売店の紹介でOED-1000を知りました。

当初からオゾンに対しては悪いイメージを持っていませんでした。劇薬を使用せずに内視鏡を消毒できるのであれば、クリーンかつ安全であると考え、導入しました。

—OED-1000S Plusのご使用感を教えてください

OED-1000の頃から、装置の大きさがコンパクトで良いです。またOED-1000S Plus納入後に、ATPふき取り検査による内視鏡の清浄度評価を実施していただきました。

良い値が出て、安心しました。

製品納入後もフォローがあり満足しています。

—OED-1000Sをどのようにご使用されているか
スタッフの方に伺いました。

トレーに縦に内視鏡を巻くOEDの方式については、慣れてスムーズに巻くことができます。運転時間も問題ありません。

OED-1000S Plusより洗浄機能がついたことで、洗浄剤を手で内視鏡の管路内へ押し込んでいた、これまでの手間がなくなりました。

また内視鏡の操作部を置くトレーのピンが頑丈になり、セット時の安定性が向上しました。

ボタンを入れるコモノイレを、時々落としてしまうことがあり、トレーへ固定できると、より良いと思います。



はざま胃腸内科クリニック様外観



オゾン水内視鏡洗浄消毒機

OED-1000S Plus：2022年設置。

- ・奥行きが小さく、OED-1000S Plusの前の動線が確保されている。
- ・オゾンを生成するのに必要な酸素ポンペを、シンクの前へ設置していただいている。

